

2022年度 第3回 現代文化人類学会（旧早稲田文化人類学会）定例研究会  
『嗜好品から見える社会』合評会

日時：6月27日（月）19時00分～

場所：Zoomによるオンライン開催

\*どなたでもご参加いただけます。ただし、オンライン開催のため、事前申込が必要です。

6月24日（金）までに下記のGoogleフォームを通じて申し込みください。6月25日以降、参加申込をされた方のみに、ZoomのURLをお送りします。

<https://forms.gle/Ej64zbdKcKipExfq5>

企画趣旨：

2022年度第3回の定例研究会では、今年3月に刊行された『嗜好品から見える社会』をめぐる合評会を開催することにしました。当日は編者による内容紹介や2名の評者による論評に加えて、参加者からのご意見をいただき、多様な議論を展開したいと考えています。

19時00分～19時20分 編者解題

大坪玲子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー）

谷 憲一（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所ジュニア・フェロー）

19時20分～19時40分 評者① 海老澤圭（早稲田大学文学学術院助手）

19時40分～20時00分 評者② 馬場多聞（立命館大学文学部准教授）

20時10分～20時20分 リプライ

20時20分～ 質疑応答

\*著作情報

大坪玲子・谷 憲一（編）『嗜好品から見える社会』（春風社）

<http://www.shumpu.com/portfolio/870/>

お問い合わせ：

現代文化人類学会定例研究会ワーキンググループ

箕曲在弘

minoo [a] waseda.jp

\* [a]を@に変えて送信してください。